

無駄な被爆は避け過度な反応はしないことが大切

雨水のたまる所の泥や草、雨どいなど放射線量の高いところを取り除く

13日に開かれた「原発・放射能問題を考える学習会」で講師の野口邦和氏（日本大学専任講師 放射化学・放射線防護学）は、セシウム137など放射線の説明や福島県での取り組み、放射性物質の取り除く調理法など多面的な角度から話がされました。

利根沼田の放射線量について、「特別高いものではない」ことを説明し、「無駄な被爆を避け、過度に反応しないことが大切」と語りました。

参加者からは「話を聞いて、スッキリできた」といった、感想が寄せられました。



平和を考える旧沼田市の戦没者名簿や戦争の資料を展示

「平和のための戦争展」が中央公民館で開かれました

今年で31回目を迎えた「平和のための戦争展」が11日・12日、中央公民館2階で開かれました。



今年は、数年ぶりに旧沼田市の戦没者名簿が展示され、軍服や月夜野に残る地下工場の資料など、300点を超える戦争にまつわる資料が展示されました。

さらに普天間基地など、現在の沖縄米軍基地問題などの資料も展示されました。

一身上の都合を理由に八須賀議員が議員を辞職

第2回公判では一部容疑を否定

4月の沼田市議選で公選法違反（現金買収など）の罪で、逮捕、起訴された八須賀一男議員は11日、大島議長に議員辞職願を提出し、受理・許可されました。

八須賀被告は第2回公判で、「現金買収の意図はなかった」とのべたと、一部新聞で報道されました。

被災地はいまでも津波で壊された建物や自動車がそのまま 復旧支援にひきつづきご協力をお願いします

大東議員は7日から3日間、仙台市議選支援のため宮城野区へ行き、被災地の状況を目の当たりにしました。



津波で壊された倉庫と土台だけが残る家の跡

津波によって大きな被害を受けた蒲生地区では、土台だけとなった家や壊れたままの建物、横転した自動車が残されているなど、被災地ではまだまだ支援が必要です。

東日本大震災への救援募金にご協力ください

大東議員が下記のところへご連絡ください。

連絡先 日本共産党利根沼田地区委員会
電話 23-1519

2011年8月21日

NO. 267

日本共産党 大東のびゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



今年の終戦記念日は、東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所の爆発事故という、戦後かつてない苦難と辛苦のなかでむかえることになりましたが、日本共産党は、みなさんと力を合わせ、震災からの復興、国民の生命とくらしを大切にす新しい政治をめざし全力をつくします。

今年にちには、今から66年前の8月15日は、日中戦争、アジア・太平洋戦争と15年間にわたる戦争で、2000万人を超すアジアの国々の人々と310万人以上の日本国民を犠牲にした戦争に日本が降伏した日で、今年には、「満州事変」から80年、アジア・太平洋戦争に突入した1941年12月8日の開戦から70年の節目でもあります。

日本共産党はあらためて、先の大戦で犠牲となった内外の人々に、哀悼の誠を捧げ、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにする」（日本国憲法前文）決意を新たに、アジアと世界の人々との友好と連帯をいっそう深める決意です。

今年にちには 大東のびゆき です

平川 利根町 その一 平川 利根町

平川の七ツ石（厄焼く石）の近くに、庚申塔などの石仏の奥に十王堂と井上道慶の墓があります。

以前の十王堂の建物は、明治時代に校舎として使用されたことがあり、井上道慶は、上杉謙信の直臣だったといわれています。

平川古滝庵のお堂の脇に、「禹王之碑」（うおうのひ）が建てられています。

禹王は、約4000年前の中国で



十王堂にある井上道慶の墓



平川古滝庵の不動尊境内に建つ禹王の碑

長年の奮闘によって黄河の洪水被害を克服した古代中国の夏王朝の皇帝で、治水の神としてまつられ、日本には全国に16基の碑があるといわれ、群馬県内では平川と片品村に残されています。

平川の碑は、大正8年（1919）につくられたもので、禹王の業績を称えることが書かれていますが、この碑は別の場所からここに移されたと考えられています。